

# 第34回マルちゃん杯九州少年柔道大会 実施要項

- 1 目的 柔道の試合を通じて心身の鍛錬及びその技能を磨き、将来を担う九州地区の少年相互の親睦を図り、明るく、正しくそしてたくましい少年の健全育成を目的とする。
- 2 主催 大分県柔道連盟 東洋水産株式会社
- 3 後援 (公財)全日本柔道連盟 九州柔道協会 大分県教育委員会  
(公財)大分県体育協会 大分市 大分合同新聞社  
OBS大分放送 TOSテレビ大分 OAB大分朝日放送  
ベースボールマガジン社「近代柔道」 マルミヤストア
- 4 日時 2019年6月23日(日) 開会式9:30(開場8:30) / 終了16:30(予定)
- 5 会場 昭和電工武道スポーツセンター [大分市大字横尾1351 大分スポーツ公園内]  
※大分米良インターより車で10分
- 6 日程 審判監督会議 8:50 (2階会議室)  
開会式 9:30 (多目的競技場) ※全チーム参加  
試合開始 9:50  
閉会式 16:10  
終了予定 16:30 (予定)
- 7 試合種目 団体試合とし、小学生の部、中学生男子の部、中学生女子の部の3部制とする。なお、各部において1団体につき2チームを上限とする。
- 8 参加資格 (1)出場するチームは、2019年度の全日本柔道連盟登録をしている団体(学校、柔道場、クラブ、スポーツ少年団等)であり、選手は、出場するチームを通して競技者登録をしていること。勝敗にこだわり、選手を臨時に他のチームから移籍する等の行為があった場合には、そのチームを失格とし、今後の本大会への出場を認めない。  
(2)監督不在のチームは、出場することができない。監督は、複数のチームの監督を兼任することは認めない。部制を問わず2チーム以上の監督を兼務することはできない。2チーム以上出場の場合は、それぞれ別の監督とすること。また、監督は全日本柔道連盟指導者資格、もしくは学校顧問特例資格を保有し、全日本柔道連盟に登録をした者とする。  
(3)チームの構成は、小学生(3年生以上)・中学生とし、現に各加盟団体の市町村の小・中学校に在籍している者とする。なお、監督は、参加選手の大会出場意思確認及び健康状態を把握し、保護者並びに団体の承認を得ること。参加申込書の承諾欄については保護者印とする。ただし、医師の健康診断書の添付は不要とする。  
(4)脳震盪対応について  
ア 大会1ヶ月前以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。  
イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急専門医[脳神経外科]の精査を受けること)  
(5)皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。万が一、皮膚真菌症の感染が判明した場合は、大会に出場できない場合もある。
- 9 チーム編成 (1)チームの編成  
ア 小学生・中学生男子の部は、監督1名、選手5名、補欠2名の計8名とする。

イ 中学生女子の部は、監督1名、選手3名、補欠1名の計5名とする。

\*男女混合のチーム編成は、小学生の部のみとし、中学生は認めない。

(2) オーダーの編成

オーダーは、段、級自由であるが、事故防止のため、体重の重い順に大将から配列するものとし、チーム編成を満たさない場合(欠員)及び怪我等により補欠起用が生じた場合でも、改めて体重の重い順に大将より配列すること。

また、試合中に負傷等で欠員が生じ、5名の編成ができない場合も大将から順に配列し、最も軽い位置を欠員とする。

【例】\*チーム編成が4名の場合は、大将・副将・中堅・次鋒とする。(体重重い順)

\*チーム編成が3名の場合は、大将・副将・中堅とする。(体重重い順)

(3) 選手変更

ア 選手(補欠を含む)申込提出後の変更は、原則として認めない。

イ 申込み後～大会当日までにおいても、プログラムに記載されていない選手の変更は認めない。

ウ 選手の負傷等でやむを得ない場合、また当日試合中に負傷し変更する場合は、補欠より補充し、9の(2)に従い編成する。

エ 負傷等により変更となった選手は、以後の試合に出場できない。

オ 試合当日の選手変更については、大会本部の選手変更係から用紙(複写式)を受け取り、係に提出すること。

10 試合規則

(1) 試合は平成31年4月現在の国際柔道連盟試合審判規定及び国内における「少年大会特別規定」による。なお、一部変更も有り得ることから審判会議での申し合わせ事項により詳細は決定するものとする。

(2) 技の内容と指導の重みは、【一本勝ち=反則勝ち>技あり>僅差】の順とする。判定基準は「技あり」又は「僅差」(「指導」差2以上)以上とする。技による評価(技あり)がない、又は同等の場合、かつ指導差が1以内の場合は「引き分け」とする。

(3) 試合時間は2分間とする。但し、小学生及び中学生男子の部における準々決勝戦以上、また、中学生女子の部における準決勝戦以上は3分間とする。

11 試合方法

(1) 試合は、各部ごとのトーナメント戦で行う。

(2) 中学生男子の部は5位決定戦を実施する。

(3) チーム対チームの勝敗は次のとおりとする。

ア 勝者数の多いチームを勝ちとする。

イ アで同等の場合は、「一本」(=反則勝ち)による勝者数の多いチームを勝ちとする。

ウ イで同等の場合は、「技あり」による勝者数の多いチームを勝ちとする。

エ ウで同等の場合は、「僅差」による勝者数の多いチームを勝ちとする。

オ エで同等の場合は、代表選で勝敗を決する。

(4) 代表戦においては、通常の試合時間(10の(3)に記載)の試合を行い、得点差がなく、かつ「指導」差が1以内の場合は旗判定で勝敗を決する(GSは行わない)。出場する選手は、「引き分け」であった対戦の中から1試合を抽選で決定する。

12 表彰

(1) 各部門別優勝、準優勝、第3位(2チーム)には大分県柔道連盟及び東洋水産株式会社から賞状、優勝杯(トロフィー)、副賞を授与する。

(2) 入賞チームの中から最優秀選手を選考し、各部門1名にフレッド・ワダ杯を授与する。

(3) 入賞チームの中から優秀選手を選考し、小学生・中学生男子の部は5名、中学

生女子の部は3名に優秀選手賞を授与する。

(4) 出場選手全員に東洋水産株式会社から参加賞を授与する。

(5) 2019年度マルちゃん杯全日本少年柔道大会への出場資格を与える。

【9月22日(日) 東京武道館(東京都足立区綾瀬3-20-1)】

小学生の部上位4チーム

中学生男子の部上位6チーム《5位決定戦を実施する》

中学生女子の部上位2チーム

※全国大会出場者は今大会のプログラムメンバーに限る。

※同一所属でA・B複数チームが出場していても、全日本少年柔道大会への出場は1チームのみとする。

### 13 ゼッケン

柔道衣に下記の要領でゼッケンを縫い付けること。8の(1)に「選手は、出場するチームを通して競技者登録をしていること」と規定していることにより、ゼッケンのチーム名についても大会に申込みした「学校」「道場」「クラブ」「スポーツ少年団」等の単位での表示に統一し、チーム名と異なるゼッケンの選手やゼッケンのついていない選手は、原則として出場を認めない。

図1 ゼッケンの大きさ表

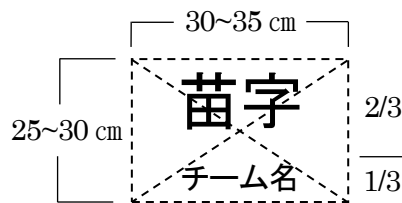
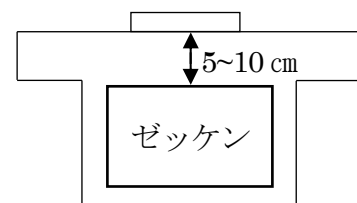


図2 縫い付け位置



ア 布地は白色の晒太綾、サイズは概ね横 30~35cm・縦 25~30cm とする。

イ 後ろ襟から 5~10 cm 下部に点線部分を縫い付ける。(対角線も縫い付けること)。

ウ 上 2/3 に苗字、下 1/3 にチーム名をゴシック体または明朝体(楷書)で記載し、男子は黒文字、女子は赤文字とする。

エ チーム内に同じ苗字(姓)の選手がいる場合は、名前の中の1字を記載する。

オ 記載するチーム名は略称を認めるが、チーム内で統一すること。

### 14 参加申込及び申込期限

(1) 参加申込 大分県柔道連盟ホームページから申込様式をダウンロードし、作成した「参加申込書」を大会事務局に郵送する。

(2) 申込期限 2019年5月11日(土) 必着

※申込書が到着し、書類に不備がないことにより受付完了となる。

(3) 申込書作成方法については、申込様式の「申し込み手順」をご参照下さい。申込書を作成し、事務局へ送付すると同時に、作成したエクセルデータ(所定のファイル名を付けること)を事務局にEメール送信して下さい。

申込先(問い合わせ先)

〒879-1312 大分県杵築市山香町大字日指1762番地

切封 覚 方

第34回マルちゃん杯九州少年柔道大会事務局 宛

TEL 090-8399-9959

E-mail oita2019maruchan@gmail.com

(注) トラブル防止のためFAXでの参加申込は受け付けない。

## 15 組み合わせ抽選

2019年5月25日(土)大会事務局において大分県柔道連盟及び東洋水産株式会社の関係者立会の下に行う。

16 参加料 大会参加料は、無料とする。

## 17 審判・監督会議

【2019年6月23日(日)大会当日 8時50分～ 武道館2階会議室】

参加チームの監督又は責任者及び審判員は、出席すること。事情により出席出来ない場合は申し合わせ、協議決定事項を了承したものと取り扱う。(協議決定事項等の資料は、大会当日に配布)

18 傷害保険 (1)参加者全員を主催者負担で傷害保険に加入する。なお、責任者は、大会出場に当たり事前に選手の体調の異常がないことを確認しておくこと。

(選手は、健康保険証「コピー可」を必ず持参すること)

(2)大会中の不慮の負傷、疾病については応急措置を施すが、保険対象範囲以外の責任は負わない。万一の事故に備え、各チーム独自で傷害保険等に加入するなどして万全の対策をたてておくこと。

## 19 宿泊等の斡旋

宿泊・昼食希望のチームは、大分県柔道連盟のホームページに添付している「第34回マルちゃん杯in大分 宿泊・弁当申し込みのご案内」をご確認いただき、「申込書」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、「宿泊等取り扱い・問い合わせ先」に直接、FAX、メールまたは郵送にて申し込むこと。(FAX申込は、必ず担当者が送信確認をとること。)

後日、下記業者から回答書(宿泊確認書等)と請求書を送付する予定。

### 【宿泊等取り扱い・問い合わせ先】

名鉄観光サービス(株)大分支店

「第34回マルちゃん杯九州少年柔道大会」デスク係(担当 井原)

〒870-0035 大分市中央町1-1-5 第一生命ビル4階

TEL (097) 534-7607 FAX (097) 536-7390

E-mail shutetsu.ihara@mwt.co.jp

20 その他 (1)大会中に脳震盪を受傷した当該選手の指導者(監督)は、大会事務局に速報するとともに、大会事務局及び全柔連に対して書面により事故報告書(発生状況、事後経過処置)を提出すること。なお、練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

(2)選手・保護者・応援者の昼食は別紙申込書において申し込むこと。(費用はチーム、自己負担)

(3)出場チームの試合場への入場については、監督1名及び登録選手のみとする。

(4)監督の服装は、審判員に準じたものとしIDカードを着用して入場すること。

(5)試合場における監督の振る舞いについては、柔道精神(マインド活動)に反する行為、言動、応援等があった場合、厳正に対処する。

(6)会場施設・設備利用については、故意・過失を問わず破損した場合、修復代金を徴収する。

(7)各チーム、及び関係者には、開会式・閉会式を含む式典や、大会運営進行について柔道精神(マインド活動)に基づいた姿勢・行動をお願いする。

(8)申込書に記載されている事項(氏名・体重)は、大会プログラムに掲載されると共に大会における試合及び練習時(人物風景など)、表彰時の写真等が、新聞、雑誌、ホームページ等に掲載される事については、予め了承されたものとして取り扱う。ただし、特別の事情のある場合は大会事務局に申し出ること。